

JANOG9パネルセッション: 自己紹介とルータ実装への思い

2002年1月24日

NECネットワークス
戦略マーケティング本部
先進ソリューション技術グループ
藤本 幸一郎
Email: koichiro@ipv6.nec.co.jp

発表者(藤本)の自己紹介

- お仕事(かなり会社的に)
 - 技術面のコンサル
 - 対象:
 - キャリアさん、xSPsさん、企業さん、展示会、etc...何でもやります:-)
 - 社内開発への関与
 - 領域:
 - やっぱりLayer3がメイン、IPv6のお仕事が一番多い
 - 最近MPLSなんかも
 - アクセスからバックボーンまで
 - 他に(半分個人的に)
 - IPv6普及促進
 - IAjapan IPv6ディプロイメント委員会、IPv6オペレーション研究会、
 - IPv6 Summit、IPv6 Journal、etc.
 - 過去
 - 1992年に黄色い太い線に針を突き立てたのが出会い:-)
 - コード書き、各種ネットワーク構築、設計、etc.を経て現在に至る

NECのルータ

1T
100G
10G
1G



■ IPスイッチコアルータ CX5200シリーズ(CX5210/5220)

- 高い信頼性と業界最高水準のQoS性能
- 最大スイッチング容量: 320Gbps
- OC-192(10Gbps)までの回線を収容



■ マルチレイヤスイッチ

IP8800/700シリーズ(710/720/730/735/740/750)

- 8Gbps~192Gbpsの高速バックプレーン
- 最大96本のGbEを収容



■ IPスイッチエッジルータ CX4200シリーズ(CX4210/4220)

- 加入者収容機能とIPサービス機能の両方の機能を装備
- 高密度にIPv6/IPv4を収容し、多彩なエッジ機能を実現
- OC-48(2.4Gbps)までの回線を収容



■ 統合スイッチルータ IX5000シリーズ(IX5003/5005/5010/5020)

- OSPFv3などのIPv6先進機能を実現
- 2000年10月よりBIGLOBEのIPv6実験サービスで使用
- 10/100Base-TX, GbE, OC-3 PoS, ATM 等の多彩なインタフェース



■ 高速アクセスルータ IX1000シリーズ(IX1010/1020/1050)

- PPPoEを実装し、ブロードバンドサービスに対応した高速転送能力
- IPsecによる充実したセキュリティ機能

特徴： 主に関係しているものへの個人的思い入れ

- 共通事項：
 - オリジナル(内製)のコード：
 - 時間はかかるがバグフィックス対応や技術の蓄積を優先
 - IPv6をIPv4と同等に開発
 - MPLSなどもIPv6に対応
 - IPv6を国産勢として戦えるLast resortと思ってやってきた
 - QoSへの対応
 - SOHOルータでのカラーリング、Edge/BB、MPLS E-LSP/L-LSP、etc.
 - 特にコアルータでは早くからやりすぎたという感覚だがこれからか？
 - ブロードバンドアクセス
 - IPv6と一緒にやってくるものとして統合的に(PE, BAS, SOHOルータ)
- 特に関係しているIXシリーズ (IX5000、IX1000) に関して：
 - 内製版IP45、Comstarz等の経験を活かして
 - IPv6ルータのノウハウを引っ提げて世界に殴り込み？

今後

- ちゃんとしたルータ(運用性や管理面なども含め)を作るというのは、1年や2年おいそれと出来ることではない
- あきらめず、地道に磨きをかけていく
- ノウハウを蓄積していく
- キャラクター(特徴)を明確に、方針をぶらさず物作りを
- 「使える」ものにするよう今後もがんばります